全退教コンクール

優秀賞獲得！

全退教結成20周年記念行事として行われた「支部便り全国コンクール」において、応募８０数支部の中から「優秀賞」に選ばれました。

審査(機関紙協会ほか)発表に当たっての【評】を紹介します。(原文ママ)

◆◆◆　支部便り　◆◆◆

東京で行われた記念祝賀会において、お祝いを受ける土田支部長

うまいですね。企画の多彩さ、レイアウトのうまさ、いずれも光っています。ページ数も多く、見応え、読み応えがありました。毎号、これだけのものをつくっている努力に敬意を表します。優秀賞は当然です。

うまいのであえて注文をつけます。中段罫(段と段の間の罫)は不要です。小さな紙面をさらに細かく見せているだけです。この罫線は、新聞などで報道記事が主の紙面に使われます。　写真説明文は罫線で囲まないようにしましょう。写真と文章が分けられ、同一性が弱くなります。また、どんな写真にも必ず写真説明文はつけましょう。同様に見出しも罫線で囲まない方がよいと思います。

この機関紙の最大の魅力はカットの使い方、書体の選び方など小さい部分で細かい遊び心があるところです。つくり手が楽しみながらつくっている紙面だと感じました。

◆◆◆「どっこい」　◆◆◆

教師という職業は教師同士のみならず、教え子との深い関係がいつまでも続く、他に類をみない仕事だなあとつくづく思いました。そして、教師の生き方が道は違っても多大な影響を持つものだとも感じました。日沖さんの文章から評者も小中高と何人もの先生から影響を受けたことを思い出しました。なぜか大学時代は思い出せません。rどっこいjというタイトル通りにこれからも生きてみたいものです。 目次でそれぞれの分類がつけられているのが一番よかったと思います。これがないと、見出しだけでは何を書いているのかが分かりませんものね。